

まちの日記帳



歓声ひびく発表会 保育所で生活発表会

11/29

12/6

びくに保育所で第38回目、みなと保育所で第21回目となる生活発表会が11月29日、12月6日にそれぞれ行われました。

日頃の園内での生活や成果の一部を披露するこの生活発表会には、お父さんやお母さん、地域の皆さんなど沢山の観客が訪れ、園児たちは大勢の観客を前に緊張しながらも遊戯や劇、合唱など一人ひとりが毎日の練習の成果を出し切っていました。

会場からは一生懸命頑張った園児たちに温かい拍手や声援が送られ、お父さんお母さんはわが子の成長に顔をほころばせていました。



◀ びくに保育所 (11月29日)



▶ みなと保育所 (12月6日)

気の合う仲間と“はしご酒” しゃこたんにぎわいはしご酒大会

11/27

しゃこたんにぎわいはしご酒協議会(別所範一代表)主催の、美国町内の飲食店を巡る「しゃこたんにぎわいはしご酒大会」が開催され、美国の町が参加者で賑わいをみせました。

この日、職場の同僚や友人などを連れ添って町内外から集まった参加者は4コースに分かれ、時間内に4軒でお酒や寿司などを楽しみました。

ゴール後には文化センターでビールやお米、特賞の千円札のつかみ取りなど多数の景品が用意された大抽選会が行われ、一つひとつ番号が読み上げられるたびに会場には拍手と歓声が響く大盛況となりました。



今回も熱い戦いが ソフトバレーボール大会が開催

12/4

B & G海洋センターで第23回目となるB & G財団会長杯ソフトバレーボール大会が開催され、6チームの計25名が熱い大会を繰り広げました。

今回の大会は古平町から出場するチームもあり、出場者は優勝を目指して懸命に一つのボールを追いかけてきました。大会結果は次のとおりです。

【男女混合の部】

優勝 FB-49

準優勝 チームCC

第3位 チーム今工課長



力作が集う

第27回積丹観光フォトコンテスト

12/10

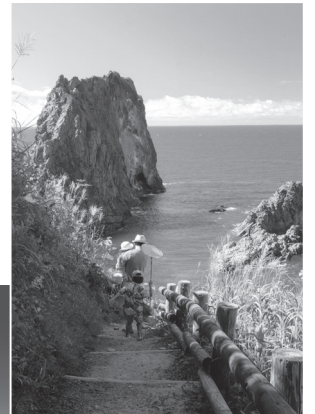
観光協会が主催する第27回積丹観光フォトコンテストの審査が、審査委員長に久保田亜矢氏（全日本写真協会会員）を迎えて実施され、応募総数240点の中から準グランプリ2点を含む3賞27作品が選ばれました。今回はグランプリ作品の該当は無かったものの、審査委員の皆さんはレベルの高い応募作品の数々を一枚一枚じっくり審査していました。

今回のコンテストは「積丹の四季」部門、「あなたの思い出に残る積丹の風景」部門の2部門で実施され、魅力溢れる積丹の風景を写した作品の数々は、今後の積丹観光PR素材として活用させていただきます。

準グランプリ受賞作品（2点）

（右）「夏休み」杉村佳奈さん（札幌市）

（下）「秋 気」藤原 渡さん（南幌町）



楽しい時間をお届け

美国婦人会・びくに保育所園児が慰問

12/9

12/10

美国婦人会（戸来和子会長）とびくに保育所園児によるやすらぎへの慰問が2日間の日程で行われ、同施設入居者とデイサービス利用者が歌や踊りを楽しみました。

利用者の皆さんは毎年この時期に行われるこの慰問活動を楽しみにされており、初めに園児たちによる可愛い遊戯が、続いて婦人会の皆さんによる本格的な歌や舞踊が披露され、会場は手拍子を打ったり、時には声援を送ったりと、一体となって盛り上がりました。

同会の皆さんの地域への奉仕活動に感謝を申し上げます。



それぞれが工夫を凝らす

町民文化教室「陶芸」

12/18

陶器づくりを体験し、物づくりの楽しさを味わうと共に日本の伝統文化への関心を高めることを目的に、町民文化教室「陶芸」が実施されました。

この教室では講師に陶芸サークル代表土井知子さんと同会員の小俣美恵子さんを招き、ロクロや成形ごて、掻きべら等の道具を使い、それぞれに思い思いの作品を作り上げていました。

振り返りの中で、参加者からは「工夫しながら楽しく製作することができた。」「地域の人に陶芸の楽しさを広げていきたい。」など感想が述べられ、好評の教室となりました。

